アクションカード

慌てず　しかし　急いで　対応する必要があります。

役割分担の役名（表）・役割分担の内容（裏）を印刷・ラミネートをして

首から引っかけるように作成します。

内容等については、各学校の実態に合わせて改変してください。

参考：平成30年　東京都健康安全研究センター

**使用の前に必ず下枠内のことを教職員の皆さんで確認してください。**

**第一発見者は「大丈夫ですか？」と肩をたたきながら声をかける**

**反応がない、もしくは（けいれんなど）反応があるか判断に迷う場合は**

**応援を呼ぶ・１１９番通報・ＡＥＤを依頼・カードを準備、**

**これを同時進行で行います。**

**（カードだけに意識を向けないように注意してください）**

**緊急時、記録（時刻・内容）を残すことが重要です。**

**デジタル端末のメモ機能（音声入力）を活用すると、簡単かつ正確に記録できます。**

発見者

【観察】

発見者【観察】　アクションカード

□　児童から離れず観察

□　助けを呼びに人を集める。（校内電話で職員室へ応援連絡、他の生徒に

呼びに行かせる）＊児童に協力を求めることは心的ストレスを

負わせる恐れがあるので配慮する。

「○○さんが倒れたと言って（隣の教室の先生）○○先生を呼んできて」

「○○さんが倒れた。近くにいる先生、来てください。」

「ＡＥＤを持ってきてください。」

□　教職員Ａ・Ｂに「準備」、「連絡」を依頼

□　管理職が到着するまでリーダー代行

□　内服薬の介助　→　ランドセルのチャックの中

□　エピペンの使用または介助　→　ランドセルの中

□　心肺蘇生やAEDの使用

□　必要に応じて、救急車の要請（現場から！　119番通報）

教職員Ａ

【準備】

教職員Ａ【準備】　アクションカード

□　内服薬の準備　→　ランドセルのチャックの中

□　エピペンの準備　→　ランドセルの中

□　エピペンの使用または介助

□　ＡＥＤの準備

□　心肺蘇生やＡＥＤの使用

教職員Ｂ

【連絡】

教職員Ｂ【連絡】　アクションカード

□　救急車を要請　（現場から！　１１９番通報）

□　保護者への連絡

□　さらに人を集める。

教職員Ｃ

【記録】

教職員Ｃ【記録】　アクションカード

※　貼付してある記録用紙に記入する。

□　事故発生からの時刻を記録

□　事故状況、対応状況の記録

□　エピペン使用・内服薬を飲んだ等時刻を記録

□　５分ごとに症状を記録

□　救急隊員に記録した内容を伝える

（もしくは、コピーを渡す）

教職員Ｄ

【その他フォロー】

教職員Ｄ【その他】　アクションカード

□　その他児童・生徒への対応

□　救急車の誘導

□　エピペンの使用または介助

□　心肺蘇生やＡＥＤの使用

管理職

【監督・指示】

管理職【監督・指示】　アクションカード

□　現場に到着次第、リーダーとなる

□　それぞれの役割確認及び指示

□　エピペンの使用または介助

□　心肺蘇生やＡＥＤの使用